



私たちの職場は山村地域社会での主体的存在として、森林の循環利用の中心的担い手として、組合員のみならず地域社会からの信頼を、尚一層高めることが求められています。

組合員や職場における女性の活躍は、これまでの林業への見方を明るいものに一変させています。

女性の活躍できる環境を、地道に整えて行きたいと考えております。

北海道森林組合連合会 代表理事会長 阿部 徹

様々な分野への女性の参画が進む中、林業は、女性が働く職場として、環境が厳しい職種の一つといわれています。

林業は、山に入っの植栽・造林作業、間伐作業、伐採作業など、天候、季節に関係なく男性社会でなければ継続が難しいとされていた社会でした。

しかし、技術進歩による機械化や林業に魅せられた林業女子の出現により、以前よりもはるかに待遇が改善しつつあります。

とはいえ、相変わらず厳しい環境ではありますが、今後も女性の活躍しやすい職場環境を目指し、会員などに積極的に働きかけてまいります。

北海道森林組合連合会について

北海道森林組合連合会(略:道森連)は、1942年2月設立され今年で75年と歴史を刻んできました。

当会は、一般民有林を管理する全道80森林組合を会員として、会員への指導と経済の両事業の補完的役目を有する総合型連合会です。

地域経済の振興発展、民有林に関する諸問題解決に向け、活動を続けています。